

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動の中で、一人一人に合わせた活動ができる。	5領域を踏まえた個別支援計画を作成し、保護者様のご希望をお伺いし、お子様の発達に合わせた活動プログラムを作成している。	園等との連携を図りながら、事業所と保護者様のみだけでなく、園の先生方とも情報共有を行っていく。
2	保護者様へのサポート	支援終了後のフィードバックでの情報共有、個別での相談援助、お子様の活動の様子を見学、参加する機会を設けている。	事業所と保護者様との情報共有はできている。保護者様同士が繋がりが少ないので、そのような場がもてるように提供していく。
3	教材が充実している	市販されている教材のみだけでなく、お子様に合わせて手作りの教材を作成、使用している。	エリアでも教材を共有し合いながら、様々な教材を提供できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にある。	・階段を使用できる方のみしか利用できない。 ・雨や雪の際は、滑りやすいため危険である。	・建物の構造上、階段を使用する必要があるため、昇降時には転倒しないよう安全に降りることを必ず声掛けを行っている。
2	保護者様同士の繋がりが少ない。 (繋がる場所を提供する)	・保護者様の集まりを企画した際に、お仕事の都合による日時の調整や限られた駐車場で対応を考える必要がある。	・外部の施設を利用する。 ・1回のみ開催ではなく、複数の日程で行う。
3	教室内の装飾が塾のように感じる	集中しやすい環境を整えるため、教室内の掲示物などシンプルにしているので、塾のように感じられる。	・玄関から楽しいと思える雰囲気や掲示物、装飾など環境を整えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校

公表日 2025年 2月 15日

13 利用児童数 13名

回収数 13名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	0	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	0	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	0	6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	3	怪我や事故など起きたことがないので分からない。	改めて事故や怪我が発生した際の対応について周知させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	安心してすごして生活できていると感じています。	ありがとうございます。今後もお子様が安心して過ごせる場所を提供できるように努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	毎回行くことを伝えると「やったー」と喜んでおります。毎回楽しみに通っています。	ありがとうございます。今後もお子様が楽しく過ごせる場所を提供できるように努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校			公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	13	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員、理学療法士等を1名以上配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	階段の昇降時にはゆっくり歩くことを声かけしている。教室内で転倒しないように環境整備とお子様や保護者様に声かけを行っている。	事業所が2階にあるため、降雨時降雪などに注意が必要。 教室内の床が固いため、転倒など無いうように注意が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		校舎内外の清掃、おもちゃの消毒を行っている。児童に合わせた机、椅子を使用し、個別、集団に合わせて配置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室やパーテーションを使用し、環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		ミーティングや社内ツールを使用して、業務改善等の話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者様に評価アンケートを実施し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面談や会議等で意見を出す機会を設けて、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在は保護者様と社内のみで行っている。	今後必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		本部、エリアで開催されている研修に該当する職員が必ず参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		五領域を含めた支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的なアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		担当、関係する職員と一緒に話し合いをしながら児童発達支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画の内容を職員間で共有しながらプログラムの作成と支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートやフィードバックでの情報などからお子様の状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った児童発達支援計画を作成し、保護者様に説明を行い、同意をいただいている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		お子様の情報をチームで共有しながら、活動プログラムを立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	お子様一人一人の特性や、フィードバックで共有した情報、興味に合わせて楽しく学べる支援を波及している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別活動と集団活動を組み合わせながら、それぞれの活動の中で学べる機会を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼や社内ツールを活用し、職員間での情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼や社内ツールを活用し、職員間での情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録を滞りなく入力し、適宜見直しを行いながら支援に取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	期間ごとにモニタリングを実施し、児童発達支援計画の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当指導員や児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	協力医療機関を設置し、園等の関係機関と連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて関係機関との連携を取りながら、情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて関係機関との連携を取りながら、情報共有に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		状況に合わせて、児童発達支援センターとの連携を図っていくように努めていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域交流において限られた時間での実施が難しいので、行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎回の支援終了後に、保護者様へのフィードバックを行いながら共通理解や情報共有の場を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアレントトレーニングとしては実施していないが、フィードバックでのお話、事業所内での相談、お子様の活動の様子を見学しながらお話をする機会を設けている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規定、利用者負担等について、契約時に説明させていただいている。運営規定に変更があった際は、保護者様に説明と同意をいただいている。	ご説明からの期間が空いてしまうと内容についての理解に誤解が生まれる可能性もあるため、定期的に内容について振り返る機会を設けていく。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等でお話をお伺いしながら保護者様の意向とお子様に合わせて児童発達支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画の内容を保護者様に説明を行い、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックや個別での相談を行い、面談と必要な助言を提供できる環境を整えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		感染予防の観点から実施はしていない。今後、交流できる機会を提供できるように検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所に受付窓口と解決責任者を設定している。いただいた相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月「やまくら通信」を発行している。SNSを活用して活動内容を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットや個人情報をアクセスできる端末にはパスワードを設定している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		フィードバック、電話、Line等を活用しながら情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所で外部向けのイベントを定期的に開催している。	開催できる回数が限られているが、定期的に開くことができるように調整していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、職員や利用者の方への周知、訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、定期的に研修や訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		基本情報シートなどで事前にお子様の情報について共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食事の提供は行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練の機会を設け、利用者が安全に過ごせる環境を整えている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に取り組みの内容について共有を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が発生した際は、報告書の作成、保管、職員間の共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修、各事業所に委員会を設置している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約の際に身体拘束についての説明を行っている。		